

ワークショップ

授業実践の共有を通じた 学びあい・その方法

—初級文法・漢字指導・読解授業をトピックに—

2013年8月7日

奥田 純子(コミュニケーション学院)

亀田美保(大阪YMCA学院)

佐久間みのり(横浜デザイン学院)

丸山友子(コミュニケーション学院)

1. ワークショップの背景と狙い

現場の課題・問題を解決したい！

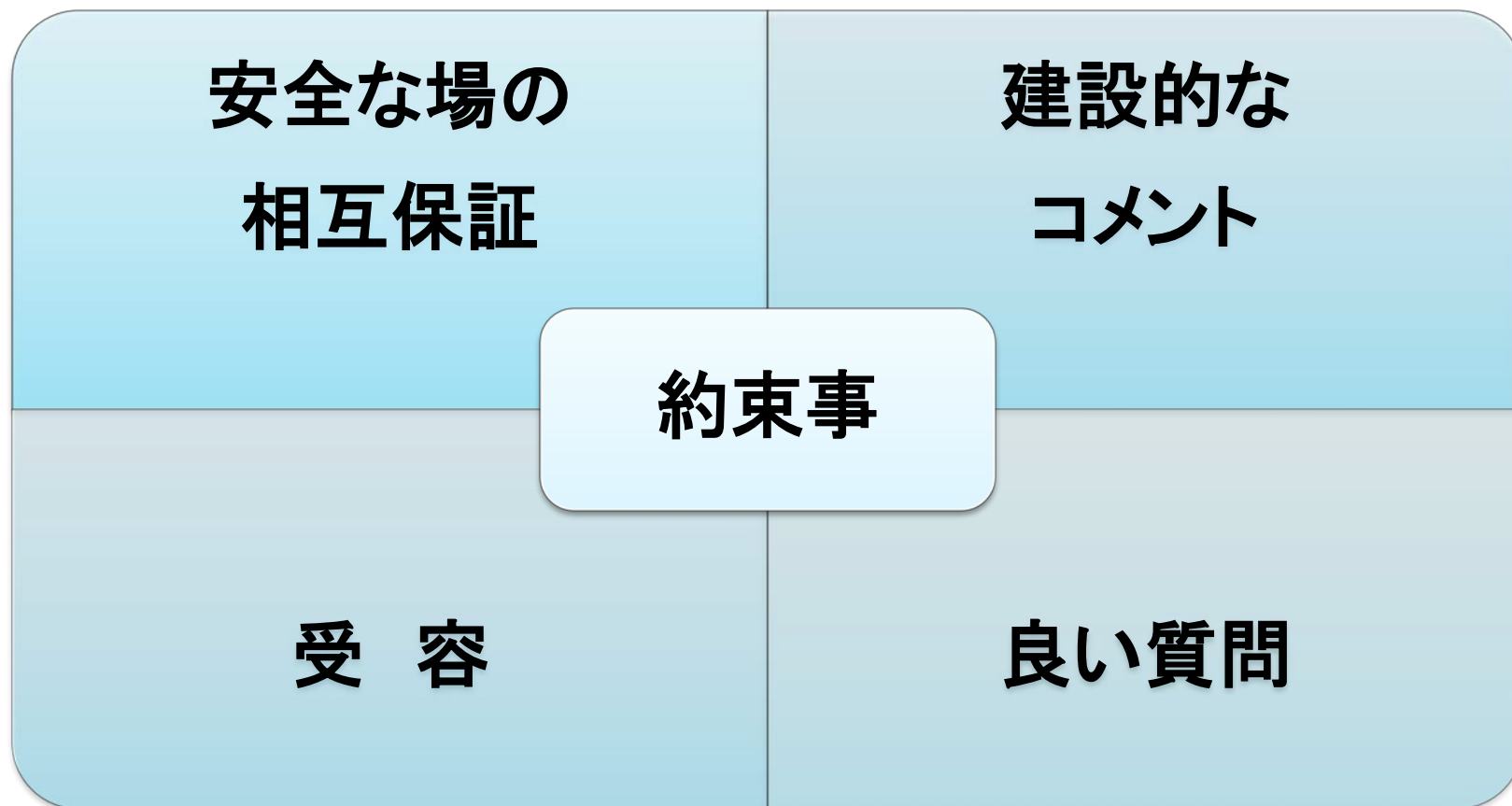
↓ どうすればいいか？

授業実践の伝え会い

↓ より良い伝え会いをするために

- 授業実践の伝え方
- 伝え会うための参加スキル
- 自分の現場への落とし込み方
- 共有を通じた発見と創造

2. ワークショップの約束事



3. ワークショップの進め方

セッション1

- 漢字指導の実践共有 佐久間さん
- 参加スキル1 発見と創造1

セッション2

- 初級文法の実践共有 亀田さん
- 参加スキル2 発見と創造2

セッション3

- 読解授業の実践共有 丸山さん
- 実践共有に必要な要素と表現方法

セッション4

- まとめ 全体で共有

気づき

私の実践

漢字指導

?

+ アイデア

発表で大切なこと
(発題者)

共有で大切なこと
(参加者)

その他
気づいたこと

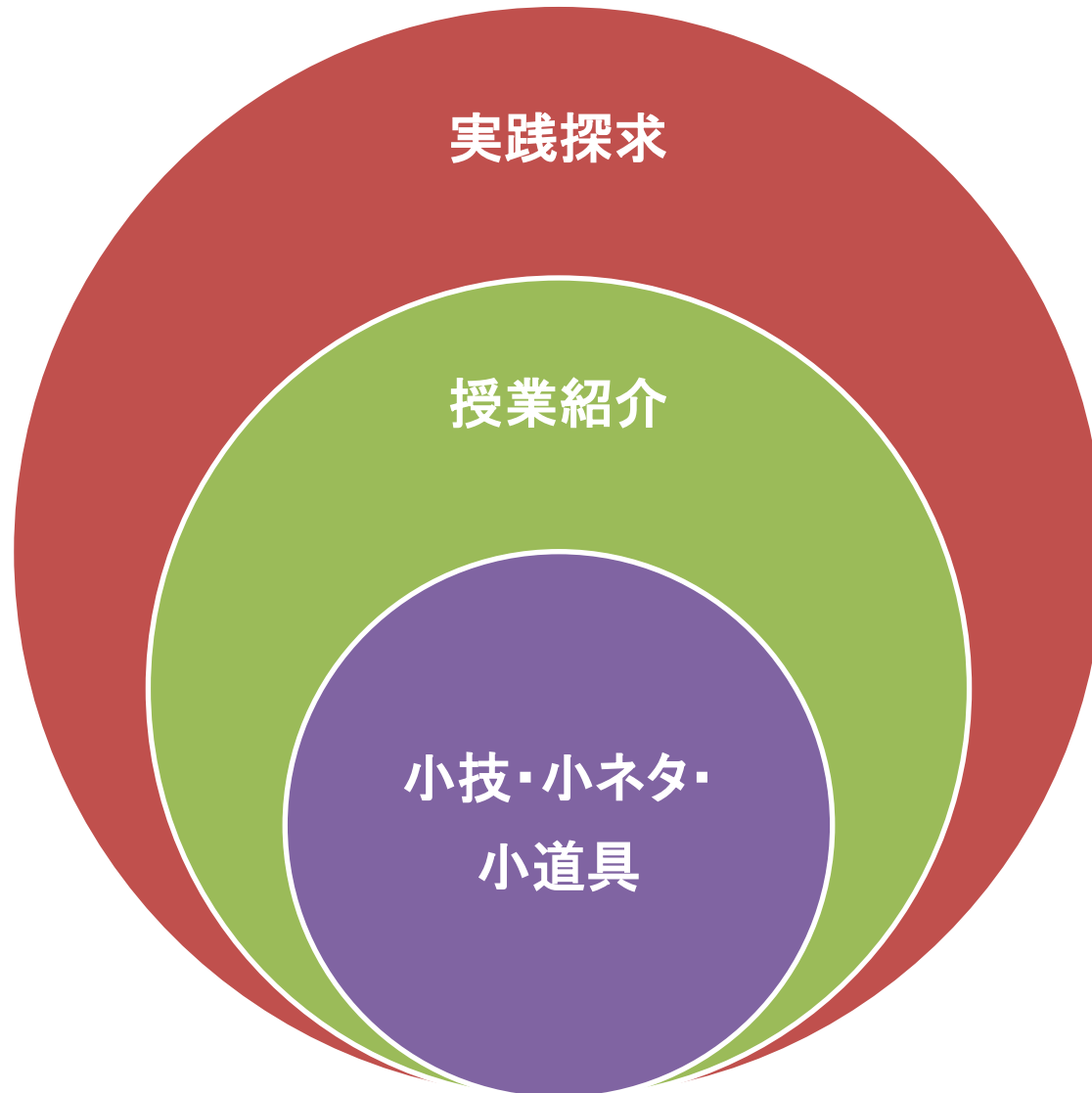
● * * * * *

● * * * * *

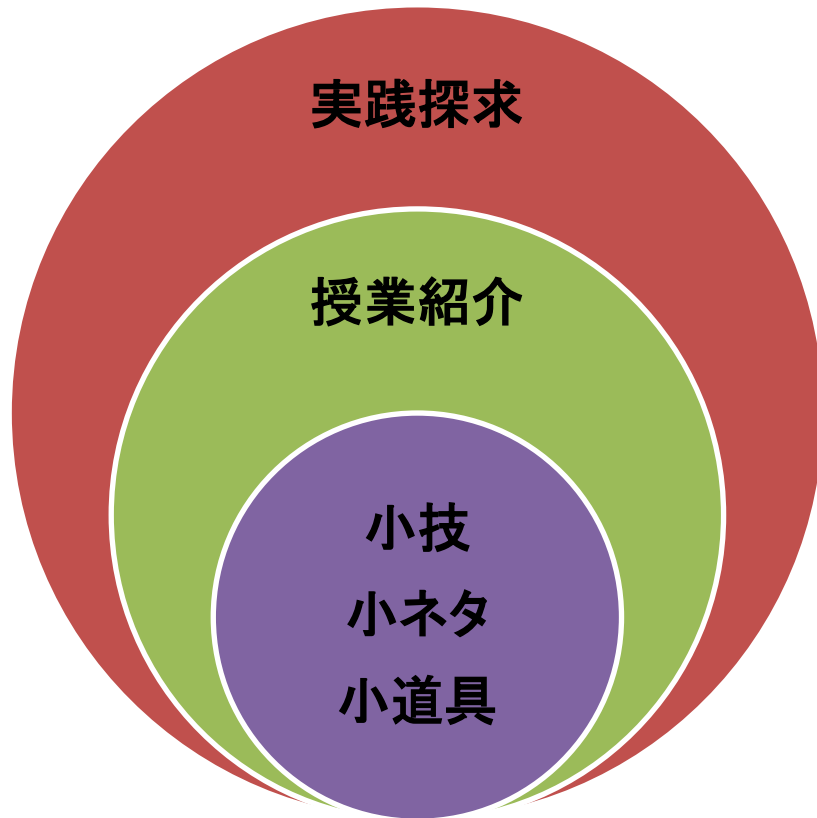
● * * * * *

● * * * * *

4. 実践の共有：3つのスタイル



「教育実践」の共有モード



小技・小ネタ・小道具
リソース、アイデア活用法

実践探求

①志向性(実践の前提)

↓ 関連性

現場の課題

内容(何を)

方法(どう)

⇒教育のアウトプット

動的なプロセスの紹介

②志向性・スピンオフの探求

授業紹介

良質の教授・学習ルポ

現場の課題

内容(何を)

方法(どう)

⇒気づき・変化

実践の共有

- 教師・職員・組織が行う**教育的な意思決定**のための情報・知的刺激を提供する場
- 「教育実践の共有」は一つのオプション
 - 新たな発想、見方・考え方、取り組み、視点
 - お土産：試したり、熟考したりする素材
 - オートクライン(auto crine)。



ひらめき

実践の探求

現場を対象とする研究

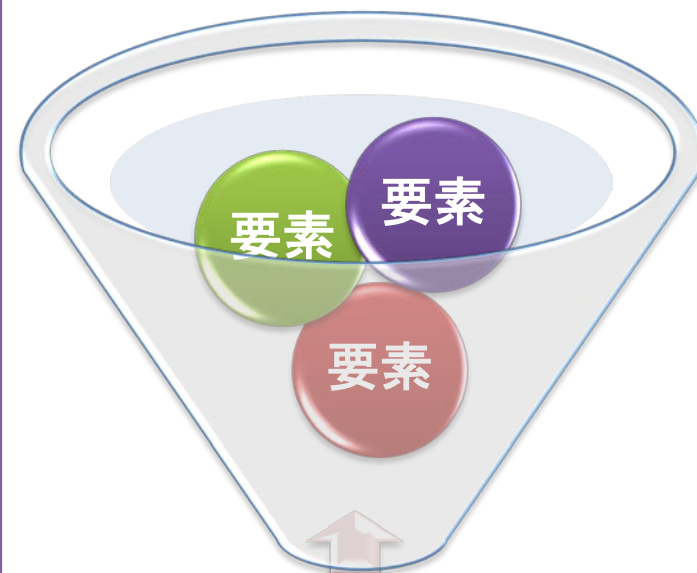
現場

- 授業(教室場面)
- 課外活動
- 体験学習(参加型学習・交流)
- 自律的学習
- 在籍管理
- 進路相談(キャリア支援)
- 生活指導・相談
- 出願審査
- 教師・学習者間の関係構築・ネットワーク

『実践研究の手引き』(2001:13)

着目点

- ・要素間の相互作用
- ・ダイナミクス
- ・要素そのもの



現場

実践探求

明確な問題意識のもとに設定された課題を、
第三者にも理解される方法を用いて、
意図的・計画的・組織的に解決し、
その成果を公開する

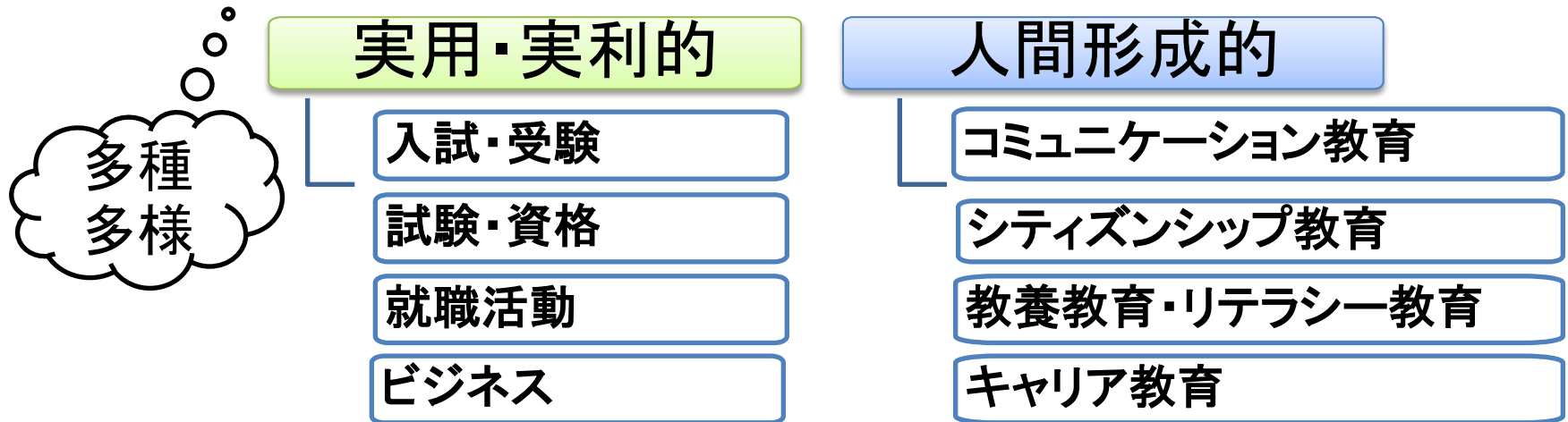
5つのステップ PDCAサイクル

- ① 問題意識の明確化
- ② 課題設定
- ③ 課題解決のための方策・計画
- ④ 結果(成果)の考察
- ⑤ 公表

教育実践と志向性

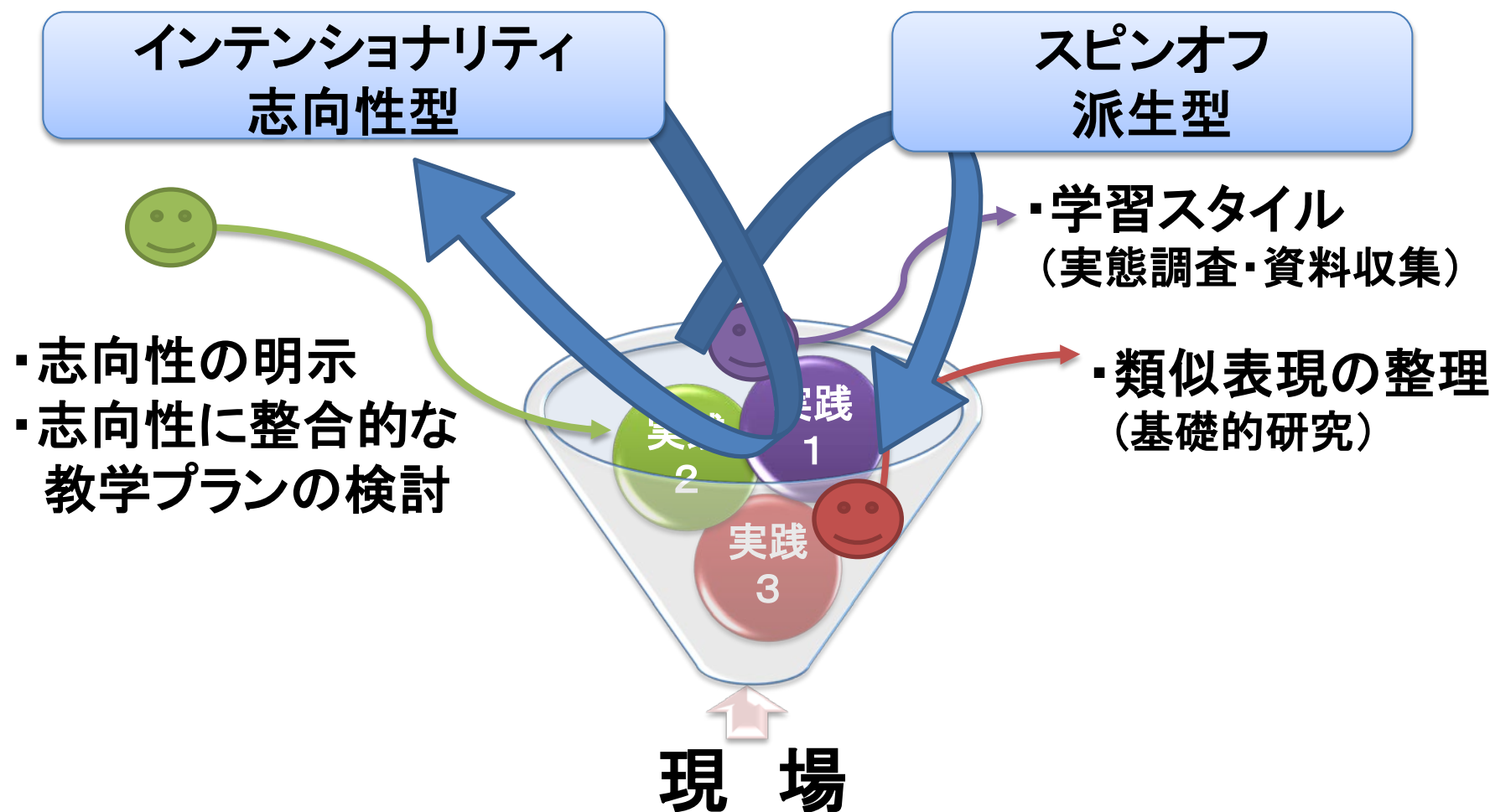
- 教育：一定の志向性のもとに、
対象に対して意図的に働きかけること

- 志向性



- 教育実践＝志向性＋内容（何を）＋方法（どう）
⇒教育アウトプット（個人の変化・変容）

実践の探求のさまざまなタイプ



実践＝現場をめぐる探求

○実践と志向性の往還・関係性

○スピノフの実践へのフィードフォワード

○「良質の教授・学習ルポ」

➤ 実践の前提(志向性・観点・思想)を踏まえた
意思決定・行為・活動の動的過程を捉えるもの

➤ 伝える実践の位置取りが明確

➤ 実践者のオートクライン・変化

○「実践」を通じた学習者の変容(教育アウトカム)

○教育実践の社会への貢献に関する分析・論考

参加者の皆様へ

- 当日はワークショップ形式で行います。
- 資料は、セッションごとに配布いたします。
- ワorkshopでは、初級文法、漢字指導、読解指導に関する実践のミニ発表があります。
- 可能ならご自身がなさっている初級文法、漢字指導、読解指導に関するリソース(教材や教具など)をご持参ください。